

景観形成デザインガイドとの整合を示す書類

「適合」「非適合」のいずれかに☑する(項目が該当しない場合は無記入)。非適合の場合等、その理由を摘要欄を記入。

項目	景観形成デザインガイド(デザイン基準)		適合	非適合	摘要
全体として	和風の落ち着いたきのある建物としましょう。		☐	☐	
形態意匠	外壁の意匠	外壁は、真壁造りを基本とし、柱・梁を表したものとしましょう。	☐	☐	
		外壁は、漆喰又は漆喰調の仕上げを基本とした和風の意匠としましょう。	☐	☐	
	建物の屋根	屋根形状は、周辺の建物との連続性に配慮したものとしましょう。	☐	☐	
		旅館や商店の出入口は、できるだけ唐破風造りとしましょう。	☐	☐	
建築物の色彩	外壁の色	外壁の色は、白、うすい灰色、うすい茶色を基本としましょう。	☐	☐	
		陸屋根の場合、建物の上端にこげ茶部分を設けるなど、周辺と調和したスカイラインとしましょう	☐	☐	
	屋根の色	屋根の色は、こげ茶系としましょう。	☐	☐	
建物の高さ	3階までの高さとしましょう。 尼湯周辺は、2階までの高さとしましょう。		☐	☐	
	4階以上の部分は、道路境界から15m以上後退して建てましょう。		☐	☐	
建物の位置	道路に面する壁面は、近隣建物の壁面と揃え、連続性を確保しましょう。		☐	☐	
緑化	通りから見える場所に、地域の植生にあった草花や樹木を植えましょう。		☐	☐	